

SC番号 : JTC1/SC34 規格番号 : ISO/IEC FDIS 13250-3 投票期限 : 2006-11-27
規格名称[英文] Information technology -- Topic Maps -- Part 3: XML syntax
規格名称[和文] 情報技術 – トピックマップ -- Part 3: XML 構文
規格案の概要 トピックマップ XML 構文(13250 Part-3)は、XML 形式によるトピックマップの具体的な交換構文を定義し、XML 構文とトピックマップデータモデル(13250 Part-2)との対応も定義する。それによって、トピックマップを広く普及している XML 形式でシリアライズし、システム間で交換することを可能にする。
回答案 [該当する項目に を記入すること] () 賛成 () 反対 () 棄権 コメント (賛成の場合は Correction のみ、反対の場合は必須) () 有り () なし
回答案の理由 日本からのコメントはすべて反映され、内容も十分審議され成熟したと考えられる。さらに、トピックマップは既に多くの分野で使用されている。
コメントの主旨 [コメントがある場合]* <u>英文コメントはテンプレートに記載の上、添付すること</u> 単純な修正漏れの指摘。
[該当する項目に を記入すること] WGへの対応 : 参画の有無 () 参加 () 不参加 最終CDへの対応 : () 賛成 () 反対 () 反対(条件付き) () 棄権 我が国からの提案 : () JIS(番号) () その他()
JISへの対応 [該当する項目に を記入すること] 1. 対応する JIS がない場合 JIS を制定する 必要がある () 必要はない() (理由)既に国内での利用例があり、今後さらに利用が増えることが予想される。 備考: マルチパート構成をとらなかった以前の ISO/IEC 13250:2000 に対応する JIS は、JIS X 4157 として制定されている。
2. 対応する JIS がある場合 (JIS 番号 _____) (1) JIS を改正し国際規格と整合させる必要がある () (理由) (2) JIS を改正する必要はない () (理由)
審議団体名 :(社)情報処理学会 情報規格調査会 回答案作成者(又は回答案責任者)の氏名、所属及び連絡先 氏名:小町 祐史 所属:大阪工業大学 情報科学部 電話番号:072 866 5190 E-Mail: komachi@y-adagio.com

<参考> 制定する国際規格について次の設問にも回答して下さい。

この国際規格は国内でどの程度使用されるか、該当する()に 印をつける。

(1) 国内で使用される ()

(2) 国内では使用されない ()

(3) 不明もしくはどちらともいえない ()

コメント(上記設問の回答に付すコメントがあれば):